

つながる ひろがる おりなす
アートには地域の未来を変える力があります

ARTS MEET OKITAMA 2026 応募〆切は 1 月 15 日

たくさんの
ご応募をお待ちしています！



AMO2026
応募フォーム

AMO2026 スケジュール

出品申込締切 令和 8 年 **1 月 15 日 (木)** 【厳守】

出品確認票締切 2 月 12 日 (木)

展 示 3 月 11 日 (水) ~ 21 日 (土)

授賞式 3 月 22 日 (日)

テーマ部門 **「時」** ※出品確認票、ショップ確認票は、1 月 15 日の
締切後、出品申込された方に送付致します。

ARTS MEET OKITAMA

だより冬号 VOL.12 202512

よねざわ市民ギャラリーと「ARTS MEET OKITAMA」
の情報をお届けします。



歴代の受賞者の作品のコーナー展示や、
10 回記念賞のなどの記念企画を準備しています。

「ARTS MEET OKITAMA2026」会期中は、「つくる人」と「みる人」を
つなぐイベントも開催致します。展示・関連事業を通じて多くの方に足を
運んでいただき、さまざまな出会いの場となればと考えております。

置賜文化フォーラム事業

若手アーティストによるワークショップ

「デジタルアートで オリジナルしおりを作ろう！」

日時：令和 8 年 3 月 15 日 (日) 13:30 ~ 15:30 (予定)

場所：ナセ BA 体験学習室

講師：左右田 心さん

(AMO2025 若手アーティスト奨励賞受賞)



対象：小学 5 年生 ~ 中学 3 年生

定員：10 名

(小学生のお子様は保護者と一緒に参加してください。)

なお、iPad・Apple Pencil は 1 組に 1 台貸出します)

参加費：無料

内 容：アプリ「ibispaint」を使用して iPad でデジタルイラスト
を作成、イラストをラミネート加工し、しおりにします。

参加申込：2 月上旬より専用フォームにて受付

※詳細は、2 月に発行する募集チラシや

置賜文化フォーラム HP でご確認ください。



置賜文化フォーラム
HP の二次元コード

AMO2026
予告

AMO2025 大賞展

新野裕美展

現在までの打合せでは、出品作品の検討を行っています。新
野裕美氏が現在までに制作してきた絵画、染織作品のポートフォ
リオを拝見しながら、制作背景やその時々的心情を伺いながら、
展示の構想、展示室のレイアウトを固めています。
今回は、そんな大賞展のみどころを 2 つご紹介！

みどころ①

多様な作品が一堂に！

県美展初入選作品「冬木立」といった風景画、130 号の大作「種」、
「紉う」シリーズなど、現在までに制作してきた作品たちをご覧い
ただけます。

みどころ②

技法を凝らした作品たち！

アクリル画、油彩画、日本画、
水彩画、テンペラ画、段ボールを
用いたコラージュ作品などから、
様々な技法を用いて制作を行う、
新野氏の飽くなき探求心を感じる
ことができます。



新野裕美「星屑の町」(2009 年)

上記の見どころを中心に来場者の皆様に新野氏の世界観が
伝わるよう、準備を進めています！

また、関連イベントも内容を固めている最中です。最新情
報などは追ってギャラリーホームページや各種 SNS で発信し
ていきますので、ご期待ください。

オープンギャラリーでは、米沢市上杉博物館の収蔵品からテーマを設定し、小展示を開催しています。

河童洞コレクション 「郷土玩具の世界」

第一期 開催中～令和8年1月22日（水）

第二期 令和8年1月23日（金）～4月22日（水）

今期のオープンギャラリーでは、9月に座の文化伝承館で開催した「河童洞コレクションの世界 縁起物の張子たち」に関連し、米沢の創作こけし作家であり、郷土玩具収集家でもあった栗林一雪の絵画作品と、作品に描かれた郷土玩具を二期にわたり紹介します。単純な造形の中に、人々の願いや祈りが込められた郷土玩具の世界をお楽しみください。



←とぼけた表情がユニークな三角だるま（新潟）



↑おなじみの東北の郷土玩具から、余り知られていないものまで

ART topics

米沢市上杉博物館で開催中！

企画展 ブルーノ・ムナーリ展 美術に出会う前の美術

11月29日（土）～令和8年1月25日（日）

9：00～17：00（入館は16：30まで）

◇休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12/27～1/1）

イタリアのアーティスト、ブルーノ・ムナーリの約300点の作品や資料を通じ、色、かたちなどの造形要素や、日常の中にあるアートの種をかたちにする楽しさを実感してもらう展覧会です。言葉はいらない、もう一つのアートの力に気づくことができます。



←ムナーリの世界が凝縮された「アビタコロ（小さな部屋）」と作品

主催：米沢市上杉博物館

企画協力：日本ブルーノ・ムナーリ研究会、NPO 市民の芸術活動推進委員会

後援：イタリア大使館、一般社団法人日本芸術教育学会、山形新聞・山形放送

東京ミッドタウンでもムナーリをはじめとする6人のアーティストを紹介する展覧会が開催されています。

※開催情報の詳細は21_21 DESIGN SIGHTのホームページ等をご覧ください。

企画展「デザインの先生」

会期：2026年3月8日（日）まで

会場：21_21 DESIGN SIGHT ギャラリー 1&2



ブルーノ・ムナーリと浜田浜雄の意外な？つながり



米沢出身の画家で、デザインなども幅広くてがけた浜田浜雄（1915～1994）。米沢市上杉博物館所蔵の浜田関連資料の中にはブルーノ・ムナーリに関わるものが複数含まれています。

中でも、浜田と親しい間柄であった美術評論家で詩人の瀧口修造がミラノで初めてブルーノ・ムナーリに会い、意気投合した感動を浜田に伝える手紙は、後に瀧口がムナーリを日本に紹介していく端緒となるもので、大変貴重です。浜田がムナーリの造形観に触発されて作った「旅行のための彫刻」も展示しています。

ARTS
MEET
OKITAMA
だより冬号 VOL.12
2025.12



▲ギャラリー HP QR



▲ギャラリー・公式
X QR